

経済・金融 フラッシュ

貿易統計 11年3月

～震災の影響で貿易黒字が急減、1-3月期の外需寄与度は前期比▲0.1%程度のマイナスに

経済調査部門 主任研究員 斎藤 太郎

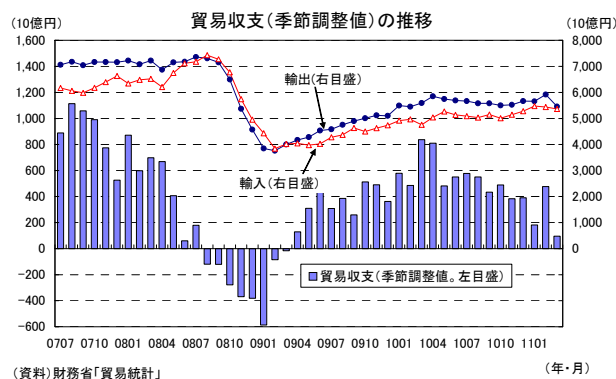
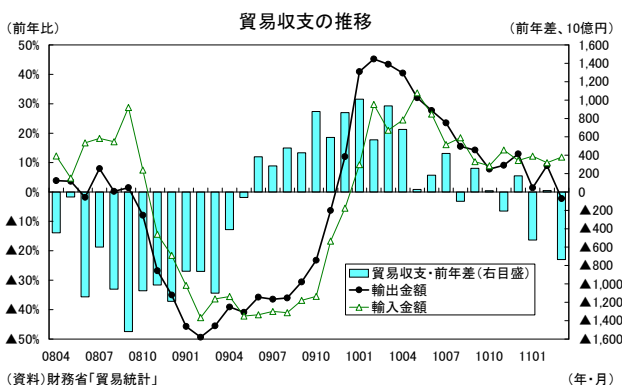
TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 震災の影響で輸出が1年4ヵ月ぶりに減少

財務省が4月20日に公表した貿易統計によると、3月の貿易収支は1,965億円の黒字となり、事前の市場予想（共同通信集計：5,744億円、当社予想は2,627億円）を大きく下回った。震災の影響で輸出が1年4ヵ月ぶりに減少する（2月：前年比9.0%→3月：同▲2.2%）一方、原油高の影響などから輸入の伸びが高まった（2月：前年比10.0%→3月：同11.9%）ため、貿易収支は前年の水準を大きく下回った（前年比▲78.9%）。

輸出入を旬別に分けてみると、輸出は上旬：前年比14.8%→中旬：同▲5.9%→下旬：同▲13.1%、輸入は上旬：前年比16.3%→中旬：同▲11.5%→下旬：同28.6%となった。港湾施設損壊による影響は限定的にとどまったが、震災後の国内生産の落ち込みが輸出に大きな影響を与えたとみられる。

季節調整済の貿易収支は963億円の黒字となり、黒字幅は前月の4,774億円から大きく縮小した（前月比▲79.8%）。輸出、輸入ともに前月比で減少したが、輸出（前月比▲7.7%）のマイナス幅が輸入（前月比▲1.4%）を上回った。

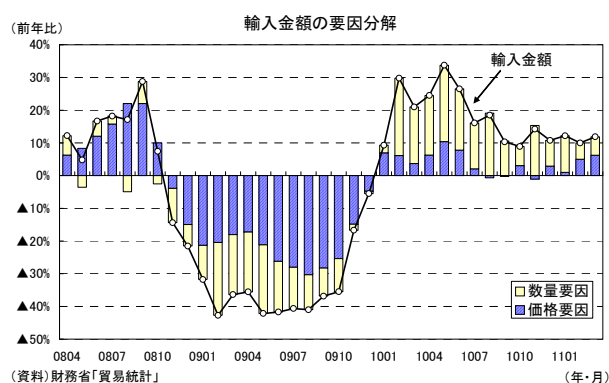
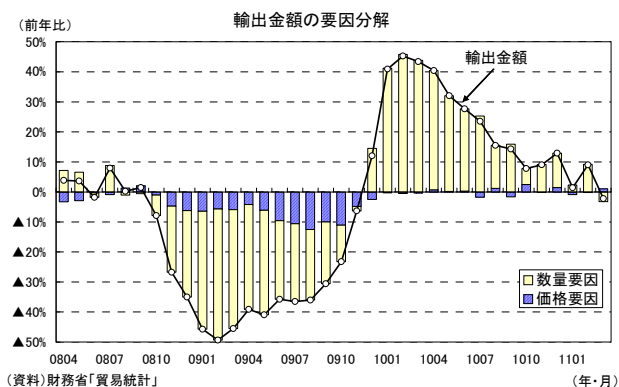


輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比▲3.2%（2月：同9.2%）、輸出価格が前年比1.0%（2月：同▲0.2%）であった。輸入の内訳は、輸入数量が前年比5.5%（2月：同4.8%）、輸入価格が前年比6.1%（2月：同4.9%）であった。

輸出はサプライチェーンの寸断や電力不足による国内生産の落ち込みの影響で、4月以降は減少幅が拡大する可能性が高い。一方、輸入は復興需要のための資材調達や火力発電所の再開、増強に

伴う鉱物性燃料（原油、液化天然ガス等）の増加などから、増加基調が続くことが見込まれる。

3月は上中旬までの貯金があったため、かろうじて貿易黒字を確保したが、4月は貿易収支の赤字化が避けられないだろう。

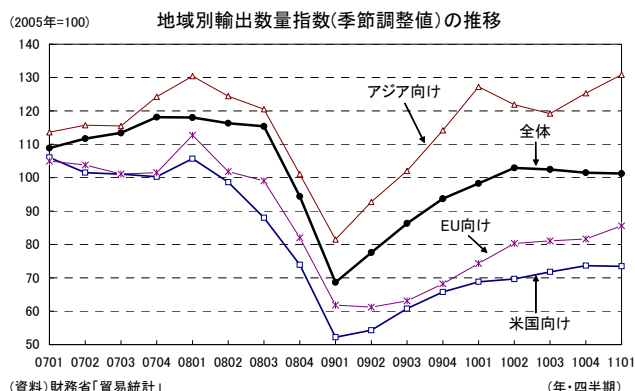
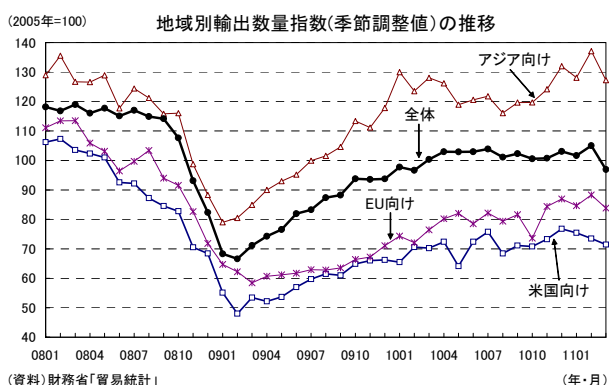


2. 3月の輸出はいずれの地域向けも急減

3月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比1.0%（2月：同3.7%）、EU向けが前年比8.4%（2月：同22.1%）、アジア向けが前年比▲1.0%（2月：同11.0%）であった。季節調整値（当研究所による試算値）では、米国向けが前月比▲2.8%、EU向けが同▲5.1%、アジア向けが同▲7.2%、全体では同▲7.7%と震災の影響でいずれの地域向けも大きく落ち込んだ。

1-3月期の輸出数量指数を季節調整値（当研究所による試算値）で見ると、米国向けが前期比▲0.2%（10-12月期：同2.6%）、EU向けが前期比4.8%（10-12月期：同0.7%）、アジア向けが前期比4.4%（10-12月期：同5.1%）、全体では前期比▲0.2%（10-12月期：同▲0.8%）と3四半期連続でマイナスとなった。

一方、輸入数量指数（季節調整値）は、3月は前月比▲1.8%の低下となったが、1-3月期では前期比3.6%（10-12月期：同▲0.8%）と2四半期ぶりに上昇した。



3. 1-3月期の外需寄与度は前期比▲0.1%程度のマイナスに

3月までの貿易統計と2月までの国際収支統計の結果を踏まえて、1-3月期の実質GDPベースの財貨・サービスの輸出入を試算すると、輸出は前期比ほぼ横ばい、輸入は前期比1%弱の増加と

なることが見込まれる。この結果、1-3月期の外需寄与度は前期比▲0.1%程度（10-12月期も同▲0.1%）と3四半期連続のマイナスとなることが予想される。

当研究所では4/28に発表される3月の鉱工業生産、家計調査等の結果を受けて、同日のweeklyエコノミストレターで1-3月期の実質GDP成長率の予測を公表する予定である。外需が成長率を押し下げることに加え、震災の影響で民間消費が10-12月期に続き減少し、国内需要も前期比マイナスとなることから、現時点では前期比年率▲1%弱のマイナス成長を見込んでいる。

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。